

図書館だより

第17号 平成23年1月15日

袖ヶ浦市立中央図書館〒299-0262 袖ヶ浦市坂戸市場1393-2 TEL0438-63-4646

特別整理休館のお知らせ

今年も所蔵資料約64万点の所在確認をする蔵書点検の時期が近づいてまいりました。1年に1度、不明になった資料がないか、あるべきところに資料がきちんとあるか、また、傷んだ本の修理など、1点1点を手にとってチェックをしていきます。

休館中の図書・雑誌の返却はブックポストをご利用ください。尚、紙芝居・CD・カセットテープは、お手数ですが開館している図書館、図書室に返却してください。

全館を一斉に休館をすることなく、順次、点検をしていきますので、いつもご利用いただいています施設が休館中、お急ぎの方は開館している他の図書館・図書室をご利用ください。新しい発見があるかもしれませんよ。



点検風景

館名	休館日
中央図書館	2月 1日(火)～2月 8日(火)
長浦おかのうえ図書館	2月22日(火)～3月 2日(水)
平川図書館	2月17日(木)～2月18日(金)
根形図書室	2月 9日(水)～2月10日(木)
平岡図書室	2月15日(火)～2月16日(水)

※ 2月11日(金)～13日(日)、2月19日(土)～20日(日)は全館開館しています。

※ 裏面の図書館カレンダーをご覧ください。

【あの頃のベストセラー特集】 順位に○印のある図書は所蔵しています。

2010年は8万点を超える新刊本が出版されました。皆さんは何冊読みましたか。今回はこれまでどんな本がベストセラーになったのか10年ごとに調べてみました。

2010年のベストセラー

順位	タイトル	著者	出版社
①	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎 夏海	ダイヤモンド社
②	巻くだけダイエット	山本 千尋	幻冬舎
③	体脂肪計タニタの社員食堂 (500kcalのまんぷく定食)	タニタ	大和書房
4	ポケットモンスターブラック・ホワイト公式完全ぼうけんクリアガイド	元宮秀介・他	メディアファクトリー
⑤	1Q84 BOOK3	村上 春樹	新潮社
6	ポケットモンスターブラック・ホワイト公式イッシュ図鑑完成ガイド	元宮秀介・他	メディアファクトリー
⑦	伝える力 (「話す」「書く」「聞く」能力が仕事を変える!)	池上 彰	PHP研究所
8	新・人間革命 第21巻・第22巻	池田 大作	聖教新聞社
9	創造の法 常識を破壊し新時代を拓く	大川 隆法	幸福の科学出版
⑩	くじけないで	柴田 トヨ	飛鳥新社

2000年のベストセラー

順位	タイトル	著者	出版社
①	だから、あなたも生きぬいて	大平 光代	講談社
②	ハリー・ポッターと賢者の石	J.K.ローリング	静山社
③	話を聞かない男、地図が読めない女	アラン・ピーズ他	主婦の友社
④	ハリー・ポッターと秘密の部屋	J.K.ローリング	静山社
⑤	これを英語で言えますか?	講談社インターナショナル編	講談社インターナショナル
⑥	「捨てる!」技術	辰巳 渚	宝島社
⑦	巨泉 人生の選択	大橋 巨泉	講談社
8	太陽の法	大川 隆法	幸福の科学出版
⑨	脳を鍛える(東大講義人間の現在1)	立花 隆	新潮社
⑩	人生の目的	五木 寛之	幻冬舎

1990年のベストセラー

順位	タイトル	著者	出版社
①	愛される理由	二谷 友里恵	朝日新聞社
②	「NO」と言える日本	盛田 昭夫・石原 慎太郎	光文社
③	うたかた(上・下)	渡辺 淳一	講談社
④	孔子	井上 靖	新潮社
⑤	恋愛論	柴門 ふみ	PHP研究所
⑥	真夜中は別の顔(上・下)	シドニィ・シェルダン	アカデミー出版(サービス)
⑦	後宮小説	酒見 賢一	新潮社
⑧	それでも「NO」と言える日本	石原 慎太郎・渡部 昇一 他	光文社
⑨	文学部唯野教授	筒井 康隆	岩波書店
⑩	日はまた沈む	ビル・エモット	草思社

その時々ベストセラーを見てみるとその時代の息吹が感じられます。ハリーポッターシリーズや1Q84は年をまたぎベストセラーにランクインしています。他にもダイエット本やゲーム攻略本が根強い人気を保っているようです。

1980年のベストセラー

順位	タイトル	著者	出版社
1	シルクロード(1~4)	NHK取材班他	日本放送出版協会
②	項羽と劉邦(上・中・下)	司馬 遼太郎	新潮社
3	ノストラダムスの大予言(2)	五島 勉	祥伝社
④	蒼い時	山口 百恵	集英社
⑤	悪魔の選択(上・下)	F・フォーサイス	角川書店
6	ツービートの わっ毒ガスだ	ツービート	ベストセラーズ
7	守護霊を持って	桐山 靖雄	平河出版社
8	将軍(上・中・下)	ジェームズ・クラベル	TBSブルタニカ
⑨	Cosmos(上・下)	カール・セーガン	朝日新聞社
⑩	こんな女と暮らしてみたい	高橋 三千綱	青春出版社

1970年のベストセラー

順位	タイトル	著者	出版社
①	冠婚葬祭入門 <カッパ・ホームズ>	塩月 弥栄子	光文社
②	誰のために愛するか	曾野 綾子	青春出版社
③	冬の旅 (上・下)	立原 正秋	新潮社
4	スパルタ教育 <カッパ・ホームズ>	石原 慎太郎	光文社
5	創価学会を斬る	藤原 弘達	日新報道
6	心	高田 好胤	徳間書店
7	続・冠婚葬祭入門 <カッパ・ホームズ>	塩月 弥栄子	光文社
8	銭の花 (1・2・3)	花登 筐	講談社
9	原価の秘密 <三一新書>	大門 一樹	三一書房
⑩	アカシヤの大連	清岡 卓行	講談社

1960年のベストセラー

順位	タイトル	著者	出版社
1	性生活の知恵	謝 国権	池田書店
②	私は赤ちゃん <岩波新書>	松田 道雄	岩波書店
③	どくとるマンボウ航海記	北 杜夫	中央公論社
4	頭のよくなる本 <カッパ・ブックス>	林 諤	光文社
5	トイレット部長	藤島 茂	文藝春秋新社
⑥	敦煌	井上 靖	講談社
⑦	鳥葬の国 <カッパ・ブックス>	川喜田 二郎	光文社
⑧	河口	井上 靖	中央公論社
9	人生は芸術である	御木 徳近	東西五月社
⑩	性格 (<岩波新書>)	宮城 音弥	岩波書店

出典:「出版年鑑」(出版ニュース社)、2010年のみトーハン。

高度経済成長に沸いた60年代から80年代の日本。文芸書では海音寺潮五郎、山岡荘八、司馬遼太郎などが国民的作家として活躍していました。また、曾野綾子や有吉佐和子などの女流作家の台頭も著しいものがありました。「ノストラダムスの大予言」や「天中殺」に関連した本も人気があり、繁栄をつづける社会に対して何かしらぼんやりした不安を抱えていた時代であったのかもしれない。

中央図書館映画会

日時	種別	上映作品	監督	出演者
1月20日(木)10:00~12:05	邦画	おろしや国酔夢譚	佐藤 純彌	緒形 拳/ 西田 敏行
2月13日(日)11:00~11:30	子ども	ごんぎつね		
2月17日(木)10:00~11:45	洋画	クレイマー・クレイマー	ロバート・ベントン	ダスティン・ホフマン/ メリル・ストリープ
3月 5日(土)10:00~11:25	邦画	神田川	出目 昌伸	草刈 正雄/ 関根 恵子
3月17日(木)10:00~11:30	邦画	お嬢さん乾杯	木下 恵介	原 節子/ 佐野 周二

長浦おかのうえ図書館

日時	種別	上映作品	監督	出演者
1月26日(水)10:00~12:20	洋画	イヴの総て	ジョゼフ・L・マンキーウィッツ	アン・バクスター/ ベティ・デイヴィス
2月 9日(水)10:00~11:40	邦画	酔いどれ天使	黒澤 明	志村 喬/ 三船 敏郎
2月16日(水)10:00~12:05	邦画	野良犬	黒澤 明	志村 喬/ 三船 敏郎
3月 9日(水)10:00~11:55	洋画	巴里のアメリカ人	ヴィンセント・ミネリ	ジーン・ケリー/ レスリー・キャロン
3月12日(土)10:30~11:15	子ども	タンタンの冒険 月世界探検		
3月23日(水)10:00~12:00	洋画	紳士協定	エリア・カザン	グレゴリー・ペック/ ドロシー・マクガイア

平川図書館

日時	種別	上映作品	監督	出演者
1月21日(金)10:00~11:50	邦画	わが青春に悔いなし	黒澤 明	原 節子/ 藤田 進
1月21日(金)15:30~16:00	子ども	ブルーナのビデオ絵本館 ミッフィーのたんじょうび ほか3話		
3月18日(金)10:00~11:30	邦画	カルメン故郷に帰る	木下 恵介	高峰 秀子/ 佐野 周二
3月18日(金)15:30~16:00	子ども	コロちゃんの冒険 コロちゃんのサーカス ほか4話		

図書館カレンダー

白抜きの日が休館日です。

開館時間 午前9時30分から

午後6時まで

(10月~3月まで)

※公民館図書室は午後5時まで
網掛けの部分は蔵書点検期間

1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

編集後記

今回の号ではあの頃のベストセラー一本を特集してみました。紙面の都合でホンの一部の掲載となってしまいましたが調べてみると「そうそう、こんな本が話題になっていたっけ」「歌の世界といっしょで一発で終わった本がけっこうあるな」などと感慨深いものがありました。けれども現在でも読み継がれている本も少なからずあったのも事実。次の新しい古典はこのようにして生まれていくものなのでしょうね。

<ふくろう輩>